

# 副産物情勢

平成30年5月7日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成30年3月成牛と畜頭数は、83.7千頭(前年比101.4%)と前年をわずかに上回った。 内訳を見ると、和牛34.6千頭(前年比 104.6%)、交雑牛19.9千頭(同 107.6%)、乳牛去勢14.7千頭(同 91.0%)であった。 ○平成30年4月の成牛と畜頭数は、速報値(4/27まで集計)で86.9千頭(前年比98.0%)と減少している。 ○(独)農畜産業振興機構が4月24日に公表した牛肉の需給予測によると、5月は、和牛および交雑種の出荷頭数の増加が見込まれ、全体の出荷頭数も増加するとみられることから、生産量は前年をわずかに上回ると予測する。 3ヶ月平均(3~5月)では、出荷頭数および生産量ともに前年並みと予測するとしている。 ○需要動向については、赤モノはモノにより依然不足気味である。その中でレバーの動きは悪かったが、夏場需要に向けてか動きがでてきた。 シロモノは小腸・シマチョウともに動き悪い。 テール・ホホ肉の引き合い落ち込む。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○平成30年3月度全国の肉豚出荷頭数は1,417千頭(農林水産統計4/27公表 前年比98.2%)となった。農水省2月2日発表の月出荷予測では、1,413千頭(前年比98%)と予測されており、予測は上回ったものの前年を若干下回る結果となった。 ○平成30年4月の全国と畜頭数は、速報値で1,309千頭(4/27まで集計)、前年同比99.6%となっている。稼働日数では昨年と同じ20日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で65,445頭となっている。 農水省食肉鶏卵課平成30年5月2日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成30年5月1,357千頭(前年同月比100%) 6月1,298千頭(99%)、7月1,260千頭(102%)、8月1,316千頭(100%)、9月1,281千頭(98%)、10月1,443千頭(101%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体的に堅調である。タン・ハラミは相変わらず好調である。レバーも堅調である。 シロモノは、小腸・大腸ともに夏場に向けての頭数不足不安のためか適正価格で、在庫余剰感はない。 ハツ・ガツともコンビニ・量販手需要で堅調である。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○平成30年3月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で44.8千ト(前年比102.8%、前月比120.4%)であった。 内訳は、チルドが22.4千ト(前年比101.3%、前月比112.2%)、フローズンは22.4千ト(同104.4%、同 129.9%)であった。 チルドは外貨高の米国が11,342ト(前年比97.7%)と減少したが、豪州が9,980ト(同 105.1%)と増加し全体では22,372ト(前年比101.3%)となった。 ○(独)農畜産業振興機構が4月24日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、豪州および米国産ともに輸入量の増加が見込まれることから、4~5月は前年を上回る2万3~4千ト台で推移すると予測する。 ○平成30年3月の冷凍輸入牛レバーは149.2ト(前年比328.0%・前月比149.4%)であった。国別では米国74.5t、豪州53.3t、墨国21.5tであった。 冷凍輸入牛腸は1,162.3ト(前年比76.7%・前月比101.6%)となった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成30年3月の輸出実績は、20,985枚(前年比72.6%、前月比78.6%)で、前月・前年ともに下回った。輸出平均価格は4,274円/枚(前年比-1,070円、前月比-467円)とこちらも下回った。 国別実績は、韓国5,795枚(前年比66.8%)、タイ9,910枚(同64.2%)、香港3,480枚(同82.9%)、インド600枚(同100%)、ベトナム1,200枚(前年なし)、台湾は実績なし。一方、ウエツブルーの輸入は、68.5千枚(前年比124.3%、前月比89.3%)、牛大判皮は31.4千枚(前年比119.1%、前月比111.7%)となった。 ○米国等の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げているのが、下げの主な原因と思われる。 ○国内では靴の需要が大幅に減少しており、それにあわせて輸出量が増加傾向である。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																									
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																									
②豚原皮	<p>○平成30年3月の輸出合計は、1,166,542枚(前年比101.9%、前月比121.7%)と、前月・前年は上回った。 輸出価格は659円/枚で前年比-178円、前月比-57円と下回った。 国別実績は、台湾137千枚(前年比56.1%)、タイ956千枚(同117.9%)、韓国35千枚(同71.7%)、ベトナム38千枚(前年比94.4%)、フィリピン・香港とも実績なしであった。 ○輸出動向については、輸出価格の下げが止まらない状況である。4月は600円を切っているとの声も聞く。 国際的には、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、海外には在庫も多く予断を許さない。</p>																										
3. レンダリング	①油脂等	<p>○4月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月から+5円、前年からは+7円上げの95円(前年比108.0%)となり、牛脂は前月保合、前年からは-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は外食を中心に「味の差別化」の追い風がある中、供給が逼迫している状況を受けての値上げとなった。牛脂は、ファーストフード大手の業績改善と新規店舗開店が見込まれることなどの好材料も出てきている。 ○3月マレーシア産パーム油相場は、生産量は減少するが、輸出量の伸び悩みで、90円と軟調であった。(前月比98.9%、前年比87.4%)。しかし、2月後半からの輸出好調と在庫量減により、3月以降は上げの予想。 ○4月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+2円となった。工業用油脂は前月と同様の45円/kg、前年からは-2円。 ○4月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円~66円/kg辺り。</p>	<p>5. 油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月1日</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>平成30年4月1日</td> <td>90</td> <td><b>95</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	平成29年11月1日	90	90	平成30年4月1日	90	<b>95</b>						
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
平成29年11月1日	90	90																									
平成30年4月1日	90	<b>95</b>																									